

令和2年度 教育実践高度化専攻
学校臨床科学コース 試験問題

| | | | | | |
|------|--|--|--|--|--|
| 受験番号 | | | | | |
|------|--|--|--|--|--|

令和2年度〔教職〕教育実践高度化専攻 学校臨床科学コース 試験問題

問題I 次の文章を読み、下の問い（問1～問5）に答えよ。



- 問1 二重下線部1, 2を漢字にせよ。
- 問2 二重下線部3, 4, 5の読みがなを記せ。
- 問3 2012(平成24)年8月の中央教育審議会答申が、太字で示された「質的轉換答申」と呼ばれているゆえんはなにか、160字以内で説明せよ。
- 問4 筆者の解説する大学が単位制を採用していることを前提として、あなたは本学でどのような姿勢で授業に臨む必要があるか、考えるところを、200字以内で記述せよ。
- 問5 波下線部「たとえば、(中略)」の部分には、教員と学生とのあいだで双方向型の講義の具体例が書かれている。その具体例を、あなたのことばで80字以内で記述せよ。

令和2年度〔専門〕教育実践高度化専攻 学校臨床科学コース 試験問題

問題 I

学校教育において、1994年のサラマンカ宣言以降、インクルーシブ教育の導入は重要な課題となっている。インクルーシブ教育について次の問い（問1，問2）に答えよ。

問1 インクルーシブ教育の意味を，統合教育との違いに触れながら説明せよ。

問2 ①合理的配慮の意味，および②学校内で実施可能な合理的配慮の具体的な例を述べよ。

問題II

次の文章を読み、下の問い（問1～問4）に答えよ。

問1 「(1)オペラント条件づけ」の説明として、適切なものを1つ選び、記号で答えよ。

- ア. 学習材料を学習者の持つ認知構造に関連づけながら学習すること。
- イ. 学習者にとって初めは反応を引き起こさなかった刺激（中性刺激）が、無条件刺激との対呈示によって、反応を引き起こす刺激（条件刺激）となること。
- ウ. 学習者が自発的に行った反応を報酬や罰によって強化または消去する手続き。
- エ. 学習者が他者の行動を観察するだけでその行動を習得すること。

問2 「(1)オペラント条件づけ」の手順と考え方を、人間の行動形成に応用した例として、どのようなものが考えられるか。1つ挙げ、その内容を説明せよ。

問3 「(1)オペラント条件づけ」の考え方に基づく学習指導の限界について、理由も含めて論ぜよ。

問4 「(2)プログラム学習」で使用される教材は、表のような原理に基づいて作成される。空欄に当てはまる言葉や説明を記述せよ。

| 原理の名称 | 内容 |
|----------|---|
| (①)の原理 | 学習内容をできるだけ分解して、易しい内容からほんのわずかずつ程度を高めていくように設問を構成する。 |
| 積極的反応の原理 | (②) |
| (③)の原理 | 学習者が解答したら直ちに、解答の正誤を学習者に知らせる。 |
| 自己ペースの原理 | (④) |